

[様式 9 - 1]

福祉サービス等第三者評価結果

総合評価

受診施設名	ひまわり保育園	施設種別	保育所
評価機関名	特定非営利活動法人 きょうと福祉ネットワーク「一期一会」		

平成 25 年 12 月 16 日

総 評	ひまわり保育園は、地域住民の要望により昭和 43 年に開設され、翌年に社会福祉法人として認可されました。その後地域と密着しながら、地域の保育ニーズに応える形で現在に至っております。 平成 15 年からパソコンでの「園児管理システム」をいち早く導入された事は画期的であり、これにより園児台帳やケア記録をはじめ主要な情報を一元的に管理され、職員間の情報共有がスムーズに行われ、人材育成にもつながっています。 園の理念であります「健康で安定した集団の中で豊かな情操を育む。」のもと、「一人ひとりの子どもを尊重したきめ細かな丁寧な保育。」の実現のため、管理者のゆるぎない信念とリーダーシップのもとにさまざまな保育展開がなされていました。 特に地域とのつながりを大切にされており、健康フェスタや敬老会などさまざまな地域行事へ参加されていました。また、園の菜園での野菜作りやバケツ田んぼ、緑のカーテン作りなど、生きた教材から学び、自然豊かで明るくのびのびと育つ環境が整っていました。 また、毎月の保育目標を玄関に掲げ、大型絵本やテレビモニターが設置されていました。造形・英語・体育などは専門講師を導入する等、子どもたちの個性や可能性を伸ばすためのさまざまな工夫がみられました。 地域の子どもたちの成長に向けて、今後のますますの発展に期待いたします。
特に良かった点(※)	Ⅱ－３－（１）地域との関係が適切に確保されている。 土曜日には子育て相談や未就園児の受け入れを行っています。地域の老人会で太鼓や鼓笛を披露したり、市の健康フェスタにも参加。また、植物園の市民の花壇にセレモニーで植え付けをするなど、地域との交流を大切にされています。また、東北の震災を受けた地域の保育所にひまわりの苗や絵を届けるなどの活動もされていました。 Ⅳ－１－（１）健康管理・食事 「園児管理システム」を導入しており、こども一人ひとりの健康状態に関する情報が関係職員に周知され、保護者への連絡等も保護者送迎備応録の情報によりリアルタイムに対応出来ていました。 行事食やクッキング、バイキングパーティーなど、楽しく食事をする工夫をしていました。また、菜園活動で米や野菜を育てる、今日の食事の栄養素などを掲示するなど、食育にも力を入れていました。今年度から世界の料理を月 1 回メニューに取り入れ、その国の言葉や衣装などの文化に触れる取り組みをされていました。

	Ⅳ－３－（１）安全・事故防止 衛生管理はマニュアルに沿って行い、基本点検表により毎日チェックされています。おもちゃの消毒や、汚物を真空パックする機器なども導入されていました。下痢や発熱など感染症が疑われる子どもは備忘録により色付けし、職員への周知を図っていました。また、事故対応では、「ヒヤリ・ハット」事例を職員の目の付くところに平面図で示すことで未然防止が図られていました。不審者への対応も模擬訓練を行い、マニュアルの周知を図っていました。
--	--

※それぞれ内容を３点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントは「評価結果対比シート」の「自由記述欄」に記載しています。

保育所評価基準 対比シート

I 福祉サービスの基本方針と組織

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
I-1 保育の理念・基本方針・目標	I-1-1 (1) 保育の理念、基本方針・目標が確立されている。	① 保育の理念が明文化されている。	A	A
		② 保育の理念に基づく・基本方針・保育目標が明文化されている。	A	A
	I-1-1 (2) 保育の理念、基本方針・目標が周知されている。	① 保育理念・保育方針・保育目標が職員に周知されている。	A	A
		② 保育理念・保育方針・保育目標が利用者等に周知されている。	A	A
I-2 計画の策定	I-2-1 (1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	① 中・長期計画が策定されている。（非該当）	A	A
	I-2-2 (2) 保育の計画が適切に策定されている。	① 保育課程が保育理念・保育方針・保育目標に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して編成されている	A	A
		② 保育課程と年間指導計画、短期指導計画との整合性が図られている。	A	A
		③ 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき改定されている。	A	A
		④ 保育課程の編成や指導計画の作成が組織的に行われている。	A	A
		⑤ 保育課程・指導計画が職員や利用者等に周知されている。	A	A
I-3 管理者の責任とリーダーシップ	I-3-1 (1) 管理者の責任が明確にされている。	① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明されている。	A	A
		② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	A	A
	I-3-2 (2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	① 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	A	A
		② 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	A	A
【自由記述欄】				
I-1-1 (1)	①保育の理念・基本方針が、パンフレット、ホームページ、年間行事カレンダーなどに明文化されている。 ②基本方針・保育目標が設定され、保育の方向性が明確にされている。			
I-1-1 (2)	①理念や基本方針は年度始めの職員会議で説明を行うとともに、職種を問わず全職員に雇用時に配布している。職員室や二階ホールなど職員の見やすいところに掲示されている。 ②保護者には入園説明会で入園のしおりに沿って説明をし、周知を図っている。途中入園の保護者にも説明を行っている。また、行事には民生児童委員にも出席してもらい理解を促している。			
I-2-1 (1)	①事業計画は具体的な内容で策定されていて、見直しも必要に応じて行われている。			
I-2-2 (2)	①保育指針に基づいて保育計画を作成している。 ②年間ページに保育指針、保育計画、年間指導計画が記載されている。それに関連して、月間、週の指導計画が作成されている。 ③月末にその当月の狙いと内容について評価を行い、課題は次月に引き継ぐ仕組みとなっている。 ④職員会議において策定され、指導計画は園児管理システムに入力される。 ⑤保育過程・指導計画は園児管理システムに入力され、職員は同じ情報を共有できる。保護者には、懇談会や便りで伝えたり、行事等については年間予定カレンダーを配布している。			
I-3-1 (1)	①管理者は、「保育士の子育て五訓」「サービスの基本5S」を日常的に現場において確認するなどリーダーとしての責任と役割を発揮している。 ②法令遵守についての研修を積極的に受けている。また必要な法令等のリスト化や職員への周知も行っている。			
I-3-2 (2)	①園長と主任保育士が情報を共有するとともに、主任保育士が各クラスとの橋渡しとなり、現場と管理者との意思疎通が図られている。園長自らも現場に積極的に参画している。 ②園児管理システムを活用し、業務の効率化を図り、確実に迅速な業務推進を実現させている。システムを導入することによってペーパーレス、労働減、職員間の連携につながっている。			

Ⅱ 組織の運営管理

評価分類	評価項目	評 価 細 目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
Ⅱ－１ 経営状況の把握	Ⅱ－１－（１） 経営環境の変化等に適切に対応している。	① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	A	A
Ⅱ－２ 人材の確保・養成	Ⅱ－２－（１） 人事管理の体制が整備されている。	① 必要の人材に関する具体的なプランが確立している。	A	A
		① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	A	A
	Ⅱ－２－（２） 職員の就業状況に配慮がなされている。	② 職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。	A	A
		Ⅱ－２－（３） 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	A
	② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。		A	A
	③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。		A	A
	Ⅱ－２－（４） 実習生の受け入れが適切に行われている。	① 実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	A	A
② 実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。		A	A	
Ⅱ－３ 地域との交流と連携	Ⅱ－３－（１） 地域との関係が適切に確保されている。	① 利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	A	A
		② 事業所が有する機能を地域に還元している。	A	A
		③ ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	A	A
	Ⅱ－３－（２） 関係機関との連携が確保されている。	① 必要な社会資源を明確にしている。	A	A
〔自由記述欄〕				
Ⅱ－１－（１）	①福知山市のホームページで世帯数等の情報を確認している。また、保育協会や保育連盟を通して情報収集を行っている。			
Ⅱ－２－（１）	①保育の質の向上のために人材育成を重視していて、基本的な考え方や方針を持っている。先を見据えた採用を行うとともに各職員の経験年数に基づいた人材プランを作成し、必要保育士数以上の職員を確保している。			
Ⅱ－２－（２）	①何でも相談箱を設置。必要に応じて勤務体制を変更するなど有給休暇を取りやすいように工夫している。 ②職員の検便検査や定期検診を年２回実施している。職員共済にも加入していた。			
Ⅱ－２－（３）	①研修の基本姿勢として、園が求める職員像の教訓を配布している。 ②年間研修予定表を４月に作成し、園内研修、自己選択研修、指名研修が計画的に実施されていることを研修報告にて確認した。 ③研修後のレポート報告の作成、研修成果の評価・分析がなされていた。			
Ⅱ－２－（４）	①実習マニュアルが整備されているとともにや役割及び体制についても明確にされていた。 ②実習生が計画的に学べるようプログラムを用意するとともに、個別の実習計画が作られていた。			
Ⅱ－３－（１）	①地域の敬老会等に参加したり、小学校との交流や中学生の保育体験を受け入れるなど、地域とのかかわりを大切にされていた。 ②土曜日は子育て相談を受け付けている。また、未就園児の受け入れを行っている。 ③ボランティア受け入れに関するマニュアルが整備されている。（受け入れ姿勢はあるが、実際の受け入れは過去に一件のみ）			
Ⅱ－３－（２）	①行政から入る情報は迅速に掲示をしている。また、関係団体についてリスト化し、職員間で共有されていた。			

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	① 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	A	A
	Ⅲ-1-(2) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	① 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	A	A
		② 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	A	A
Ⅲ-2 サービスの質の確保	Ⅲ-2-(1) 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。	① 定期的に第三者評価を受診し、事業内容の改善に活かしている。	A	A
		② 定期的に自己評価を行い、その結果と課題を職員間で共有し、改善に向けた取り組みを行っている。	A	A
	Ⅲ-2-(2) サービス実施の記録が適切に行われている。	① 入園面接・健康診断など定められた手順に従ってアセスメントを行っている	A	A
		② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	A	A
		③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	A	A
Ⅲ-3 サービスの開始・継続	Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始が適切に行われている。	① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	A	A
		② 保育の開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	A	A
	Ⅲ-3-(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。	① 転園・卒園にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	A	A
[自由記述欄]				
Ⅲ-1-(1)	①利用者尊重の姿勢は、理念や基本方針、保育目標に明示されている。又プライバシー保護についても規定を作成し、それに沿ったマニュアル整備がなされている。利用者情報は全てパソコン管理されており、指紋認証にて特定職員のみ開くことが可能である。			
Ⅲ-1-(2)	①②利用者や地域からの要望、意見、苦情に関しては対応マニュアルを整備し、担当者配置によりより迅速に対応できる体制をとっている。それら内容はパソコン管理とし、課題分析、保育の質の向上へと繋げている。又年間を通して行う行事は、その都度アンケートを実施し、その結果を次に繋げる工夫を行っている。			
Ⅲ-2-(1)	①②定期的に保育の質の向上、改善、さらには保育サービスについての自己評価を行う体制が確立されている。組織全体、又は個々の保育士がそれぞれの評価を行い、その結果と課題を職員間で共有して改善を図っている。			
Ⅲ-2-(2)	①②③[園児管理システム]を構築し、個々の記録が項目別にパソコン管理されている。また園児個々の状態変化に伴い、手順に沿った見直しがなされ、職員全体が把握できる仕組みがなされている。記録の管理体制については、個人情報管理規定に定められており守秘義務の徹底を図っている。			
Ⅲ-3-(1)	①②ホームページにて施設紹介を行っている。又公共施設等にパンフレットを配置したり、施設見学受け入れを積極的に行う等、情報提供に努めている。保育開始に当たっては「入園のしおり」を作成し、分かりやすい内容で保育の詳細を説明している。書面にて情報提供についての保護者の同意を得ている。			
Ⅲ-3-(2)	①転園により引き継ぎが必要になった事例は現時点でない。保育終了後の相談窓口を設置しており、常に保護者の相談に対応するとともに、学校関係との連携を図る体制を整えている。			

IV-1 子どもの発達援助

評価分類	評価項目	評 価 細 目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
Ⅳ－１ 子どもの発達 援助		① 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している	A	A
		② 健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	A	A
		③ 歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	A	A
		④ 感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している	A	A
		⑤ 食事を楽しむことができる工夫をしている	A	A
		⑥ 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている	A	A
		⑦ 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している	A	A
		⑧ アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行なっている	A	A
	Ⅳ－１－（２）保育環境	① 子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している	A	A
		② 生活の場に相応しい環境とする取り組みを行なっている	A	A
	Ⅳ－１－（３）保育内容	① 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている	A	A
		② 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している	A	A
		③ 子どもが自発的に活動できる環境が整備されている	A	A
		④ 身近な自然や社会とかかわれるような取り組みがなされている	A	A
		⑤ さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている	A	A
		⑥ 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している	A	A
		⑦ 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てよう配慮している	A	A
		⑧ 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している	A	A
		⑨ 乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	A	A
		⑩ 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	A	A
		⑪ 障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる	A	A
[自由記述欄]				
Ⅳ－１－（１）	①パソコンによる園児管理システムを導入しており、子ども一人ひとりの健康状態に関する情報が関係職員に周知され、保護者への連絡等も保護者送迎備忘録の情報によりリアルタイムに対応出来ている。 ②健康診断の結果は即日園児管理システムに入力され、全職員が周知し、保育に反映させている。 ③歯科検診の結果についても同様に周知されている。歯磨き指導にも力をいれている。 ④感染症の発生状況をシステムに入れることで、管理日誌のトップに表示され、全職員に周知している。保護者には玄関の掲示版に表示し、情報を伝えている。 ⑤行事食やクッキング、バイキングパーティーなど楽しく食事をする工夫をしている。菜園活動で米や野菜を育てたり、今日の食事の栄養素などを掲示するなど、食育にも力を入れている。 ⑥喫食状況は保育日誌に記載し、給食会議で検討している ⑦献立表や給食たよりでレシピを紹介をしている。1歳児、2歳児の離乳食は家庭と栄養士・保育士が連携をとり、食生活の充実を図っている。 ⑧専門医による指示書をもとに除去食を提供している。間違いがないよう席をかえたり、トレーの色を変える工夫がされているが、みんなで食べている雰囲気が感じられるようするなど特別扱いをされていない配慮がなされている。			
Ⅳ－１－（２）	①整理整頓が行き届き、寝具・遊具・玩具・砂場などの消毒はマニュアルに沿って行われている。 ②季節の草花、金魚・メダカなどの生き物が常に身近にある環境になっている。一人ひとりの子への対応ができる空間がある。			

IV-1-(3)	①子どもの実態や状況を把握し、ケア記録に入力し、日々の保育に反映させている。子どもの思いに沿って受け入れたり、共感する場面を多く作っている。 ②一人ひとりの子どもの発達状況を常に把握しながら対応している。 ③環境作りに関して専門家からの助言を参考に、玩具の置き方や片づけがしやすい環境など、子どもの年齢に合わせて環境を整えている。 ④近くの堤防を利用し、草すべりや雪すべりなど自然とかかわれる取り組みを行っている。また、地域の敬老会等に太鼓演奏で参加したり、消防署や老人ホームなど地域の人たちとのふれあいの機会をつくっている。 ⑤地域のダンスや、舞踊の先生からの指導でお遊戯会に発表している。造形、体育、絵画、英語などの専門講師を導入し学ぶ機会をつくり、のびのびと表現できる環境を作っている。 ⑥発達記録の人間関係を確認しながら、それに沿った保育をしている。縦割り保育も行っている。 ⑦絵本などの視聴覚教材による人権意識を育てる取り組みをしている。人権委員を決めて広報紙「あすなろ」を年3～4回発行し、保護者への啓発を行っている。 ⑧マニュアルをつくり、性差を付けない保育をしている。 ⑨乳児保育の環境が整備され、保護者との連携もスムーズに行えている。 ⑩時間に配慮しながら異年齢のこども同士で遊べるようにしている。0、1歳児はおやつを提供している。 ⑪障害児の受け入れ環境は整備されている。現在障害児の受け入れはない。
----------	---

IV-2 子育て支援

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-2 子育て支援	IV-2-(1) 入所児童の保護者の育児支援	①一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行なっている	A	A
		②家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている	A	A
		③子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている	A	A
		④虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている	A	A
		⑤虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている	A	A
		⑥子どもの発達記録やケア記録、保育要録など保育に必要な記録が整備され、保育内容（指導計画）や小学校など専門機関との連携に活かされている。	A	A
	IV-2-(2) 一時保育	①一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている	A	A
[自由記述欄]				
IV-2-(1)	①日常的な情報交換を密に行っており、個別懇談の機会も設けている。 ②情報交換の内容は送迎備忘録、保育日誌に記録されている。 ③運動会、収穫祭、給食試食会、ひまわり大会など、保護者の参観の機会を設け、乳児の発達や育児についての講演会を行っている。 ④虐待についての研修を行い、気になる状況が発見された時は園長に報告する体制となっている。 ⑤虐待に対応する関係機関の連絡先は事務所に明記されている。 ⑥システムを使い、指導計画にもとづく記録の整備ができています。児童連絡会等で専門機関との連携が図られている。			
IV-2-(2)	①土曜日に未就園児の一時保育を行っているが、現在はその他の利用希望はない。体制は整っている。			

IV-3 安全・事故防止

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV－3 安全・事故防止	(1) 安全・事故防止	① 調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている	A	A
		② 食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知されている	A	A
		③ 事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取り組みを行っている	A	A
		④ 事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	A	A
		⑤ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	A	A
[自由記述欄]				
IV-3－(1)	①衛生管理はマニュアルに沿って行い、基本点検表を毎日チェックしている。 ②食中毒予防マニュアルにもとづく職員研修を行っている。 ③職員の目のつくところに「ヒヤリ・ハット」事例を平面図で示し、未然防止を図っている。 ④事故や災害についてのマニュアルにもとづく職員研修が行われている。 ⑤監視カメラを玄関・駐車場・園内の10ヶ所に設置しチェックしている。職員が不審者役になって、模擬訓練などの職員研修を行っている。			